

厚木市七沢でシンジュサン(*Samia cynthia pryeri*)を確認

梶 真史*・山本光人**

Note on *Samia cynthia pryeri* in Nanasawa, Atsugi - city.

Masashi ENJU* and Mitundo YAMAMOTO**

I はじめに

本種は、大型の美麗種で南方に多く分布し、日本で広く産する蛾類である。食樹は、キハダ、シンジュ、ニガキを主に食し、他に、クヌギ、エゴノキ、クスノキ、ゴンズイ等も記録がある。神奈川県内では各地(脚注参照)に記録があるが、厚木市内では得られていない(中島・山本, 2004)。

2004年9月20日、自然環境保全センターの神奈川県フィールドスタッフである青木トシ氏が見慣れない幼虫を撮影されたとのことで、厚木市郷土資料館に写真を持参された(写真)。同氏によれば9月19日に神奈川県フィールドスタッフメンバーらと、厚木市七沢で発見されたとのことであった。写真は、筆者の一人、梶が確認したところ、全身が白粉で被われ、各節に黒点が散在する点、50mm前後と大型である点、各節の垂背部、気門下線部に各1個の大きな肉片突起を有する点など、特徴的な形態を有することなどから、本種幼虫であると同定した。

筆者らで2004年9月24日、現地確認に行ったところ、人里の生活道路脇(厚木市七沢:自然環境保全センター敷地内)に自生する1本のイヌザンショウより20頭を確認した。いずれも終齢幼虫で、本種幼虫であることが確認できた。筆者の一人、山本が

5幼虫を持ち帰って飼育している。2004年12月現在は蛹であり、順調であれば翌5~6月頃に羽化する。

厚木市内ではかつては多産していたと思われるが、記録としては今回は厚木市で初めてのものとなる。また、採食していたイヌザンショウは新食樹である。

なお、未発表であるが、山本は、2004年、中郡二宮町で蛹を採集、同年7月1日に1♂を羽化させた。また、海老名市でも成虫(同年5月20日:1♂)を採集していることを記しておく。

文末になったが、貴重な記録の発表を筆者らに託された青木トシ氏をはじめとする神奈川県フィールドスタッフメンバー各位、写真撮影をされた青木政弘氏に御礼を申し上げる。

※本種の記録のある県内市町村

横浜市、横須賀市、葉山町、三浦市、相模原市、座間市、綾瀬市、藤沢市、茅ヶ崎市、平塚市、相模湖町、津久井町、山北町、清川村、秦野市

II 引用文献

中島秀雄・山本光人(2004)チョウ目(ガ類)神奈川県昆虫誌, III: 907-1158

*厚木市郷土資料館(〒243-0003 厚木市寿町3-15-26)

**日本蛾類学会 幹事

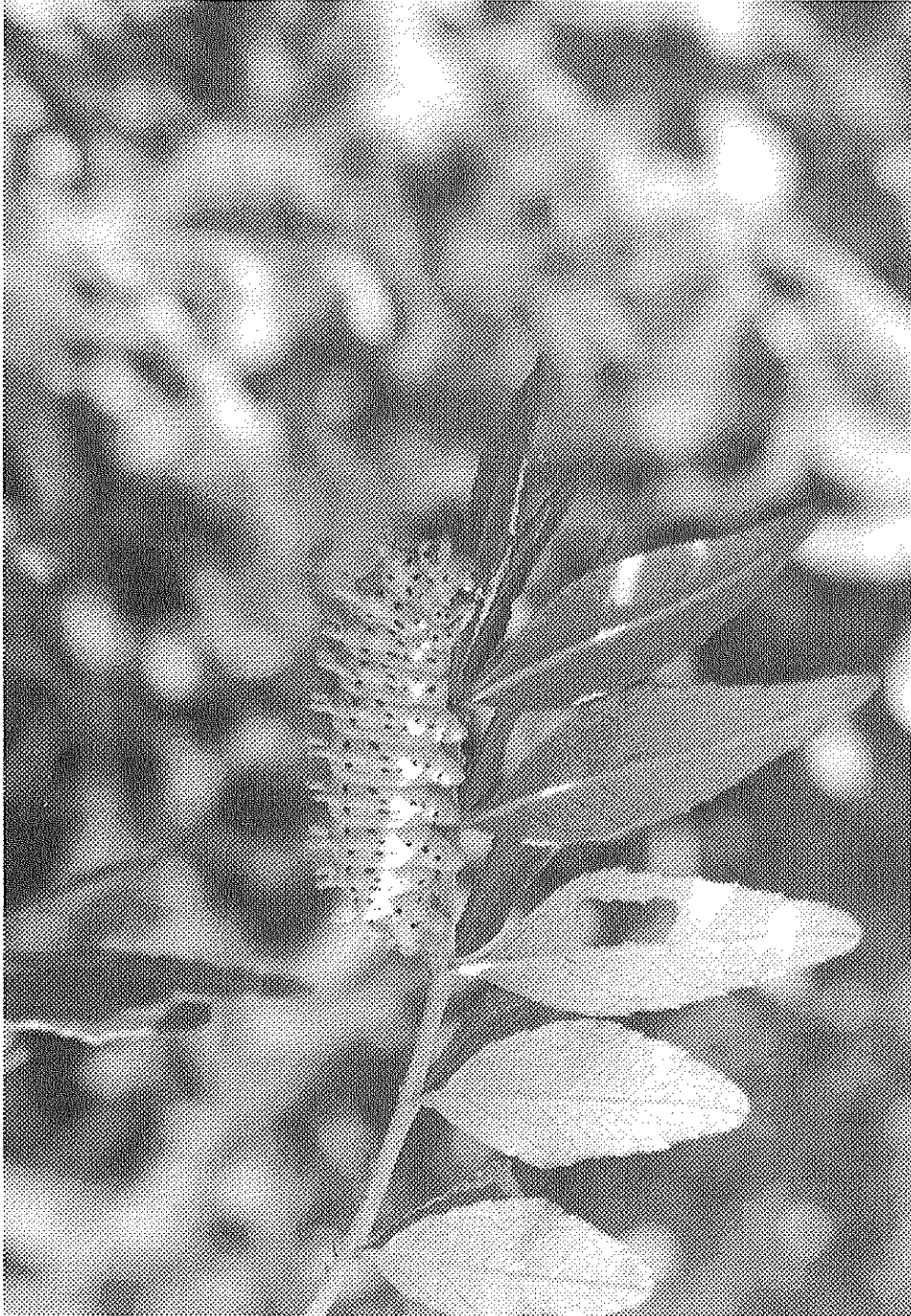


写真 イヌザンショウにつくシンジュサン幼虫
2004年9月20日、青木政弘氏撮影。枝に静止する終齢幼虫。